

| 1 番 | 黒柳 知世 議員 | |
|---|---|--|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| <p>1. 本市における文化芸術振興について</p> <p>【質問趣旨】 昨年開催された「国際芸術祭あいち 2025」の期間中は、本市に大きな賑わいがもたらされ、「陶磁器」と「現代アート」の融合が持つ魅力や本市のポテンシャルの高さを再認識する機会となった。この成果を一過性のものに終わらせず、日常の活気へとつなげ、市制 100 周年、さらにはその先にある「次の 100 年」を見据えたまちづくりにどのように活かしていく方針であるのか。集約が予定されている瀬戸染付工芸館、新世紀工芸館、せとまちツクリテセンターの在り方を含め、本市の文化芸術振興の方向性について伺う。</p> <p>(次ページへ)</p> | <p>(1)本市における文化芸術の位置づけ</p> <p>(2)国際芸術祭あいち 2025 の評価と次の 100 年に向けての施策</p> | <p>①文化芸術は、市民の生きがいや心の豊かさ、いわゆる「ウェルビーイング」を高める要素であると考え。文化芸術振興が、子どもから高齢者まで日常の暮らしの中でどのようなメリットがあると考えているのか伺う。</p> <p>②移住定住の促進や関係人口の拡大を進める上で、本市が誇る歴史ある文化は、施策の「土台」であると考え。この文化芸術の持つ役割や重要性をどのように認識し、本市の戦略としてどのように今後のまちづくりに活かしていくのか伺う。</p> <p>③①、②を踏まえ、文化芸術は市民に対しても、市の魅力を高めることに対しても必要不可欠であると考え。しかし、厳しい財政状況下においては、文化芸術への予算投入は「不要不急」とみなされがちである。本市において文化芸術施策に対する予算の観点からの基本姿勢について伺う。</p> <p>①昨年 9 月 13 日から 11 月 30 日までの 79 日間にわたり開催された、国際芸術祭あいち 2025 では、本市のまちなか会場を回遊する多くの方が見られたが、本市の地域経済にどのような賑わいと効果をもたらしたのか評価を伺う。</p> <p>②本芸術祭では、市民が普段見慣れているまちの風景やせともの製造過程が、芸術として評価されたことにより、シビックプライドの醸成に大きな効果があったと考えるが、市民にどのように精神的豊かさや郷土への愛着に影響を与えたと考えるか認識を伺う。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 1 番 | 黒柳 知世 議員 | |
|--|------------------------------|---|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| <p>また、第6次瀬戸市総合計画においては、子どもたちに対し「文化芸術に触れ、学び、体験できる機会を拡充し、豊かな感性や情操を養う」と掲げている。本市には、ノベルティ・子ども創造館や瀬戸蔵ミュージアム、瀬戸市美術館などの文化施設があり、各施設において趣向を凝らした運営がされていることは理解している。しかしながら、瀬戸市美術館においては、これまで明確に子どもをターゲットとした企画展が開催された実績はない。第6次瀬戸市総合計画の目標を達成するためにも、今後、この瀬戸市美術館をより積極的に活用し、子ども向けの企画展を展開していくべきと考え質問する。</p> | <p>(3) 統合予定である施設の在り方について</p> | <p>③多くの来場者が本市を訪れたことで、今後もさらなる誘客を目指していくと考えるが、一方で、観光の側面における受入体制についてどのような課題が浮き彫りになったのか見解を伺う。</p> <p>④本芸術祭を一過性のイベントにとどめることなく、開催を通じて得られたノウハウやアーティストとのつながりを、日常的な文化芸術の振興へ反映させることが必要だと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>⑤④を踏まえて、具体的にどのようなタイムスケジュールやロードマップを描き、取り組みを進めていくのか伺う。</p> <p>⑥「陶磁器」と「現代アート」の融合という価値は本芸術祭において認識しているが、さらには「陶磁器とポップカルチャー」、「陶磁器とアート Toy」などを、観光戦略として進めることも必要ではないかと考えるが市の見解を伺う。</p> <p>⑦令和11年の市制100周年に向けて、今回の芸術祭で得られたレガシーを100周年の記念事業に組み込んでいくべきと考える。市制100周年、そしてその先にある「次の100年」を見据えた、本市の文化芸術振興に対する具体的なビジョンと今後の展望について見解を伺う。</p> <p>①本市は「瀬戸染付工芸館」「新世紀工芸館」「せとまちツクリテセンター」の3施設を集約する方向で検討をすすめている。瀬戸染付工芸館は周知・技術保存・継承、新世紀工芸館は産業・芸術・文化の発展、せとまちツクリテセンターはツクリテ支援など、それぞれ異なる役割であるが、どのような理由で3施設の集約であるのか伺う。</p> |

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 1 番 | 黒柳 知世 議員 | |
|--------------|--|---|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| | (4) 瀬戸染付工芸館および 新世紀工芸館における研修制 度について | <p>② 3つの施設の集約化は、財政コストの削減のみではなく、集約によって事業の質が向上するという点が不可欠である。本市は、この3施設を1つにまとめることで、どのようなメリットが生まれると考えているのか、見解を伺う。</p> <p>③ 旧東明小学校跡地への埋蔵文化財センターや歴史民俗資料館等の集約計画について、貴重な文化財を安全な環境で管理することは必要であると考えている。しかし、赤津エリアの特性を最大限に活かすためにも、収蔵庫や事務スペースだけでなく、「文化財の公開や、遺物の修復作業を見学できるような拠点」に重きを置くことが必要だと考えるが、本市の方向性を伺う。</p> <p>① 研修制度における質の向上に向け、有識者の知見をさらに拡大して活用すること、また、指導員や選考委員の人員配置体制もさらなるバージョンアップを目指すことが必要と考えるが、市の方針を伺う。</p> <p>② 両施設の研修生の応募資格について、現在、応募条件として「美術・芸術系大学等の卒業・修了者、または同等以上の知識や技能を有する者」「2年間、週5日以上研修活動に専念できる者」「外国籍の場合は国内滞在資格を有する者」の3点が定められている。どのような意図や目的からこの応募資格を設定されているのか理由を伺う。</p> <p>③ 両施設の研修生の対象年齢について、現在の応募資格には制限が設けられていない。門戸を広げるという考え方がある一方で、ものづくりの未来を育てるという観点から、「若いアーティスト」への支援を主軸に据えることも必要であると考えているが、本市の見解を伺う。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 1 番 | 黒柳 知世 議員 | |
|--------------|----------------------|---|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| | (5) 子ども向けの文化芸術振興について | <p>④過去 5 年間における研修修了生のその後の進路について、「地域別」の内訳を伺う。</p> <p>⑤④を踏まえ、本市に根づき地域への貢献を期待する一方で、他地域で活躍し、本市の名を広く発信してもらうことも必要な視点である。研修修了生の市内定着率の推移と、この現状に対する市の受け止めを伺う。</p> <p>⑥修了生に対する施設の貸出しについて、現在は研修生が優先されるため、修了生が希望通りに利用できない実態がある。利用枠の拡大や、夜間・休日の有効活用、官民連携など、修了生が施設や設備をより利用しやすくなるような運用の工夫・改善はできないか伺う。</p> <p>①本市の文化芸術振興において、瀬戸市美術館はどのような役割や位置づけであると考えているのか、市の認識を伺う。</p> <p>②瀬戸市美術館における、近年の入館者数の推移と評価について、令和7年度の芸術祭の開催による影響も含め、評価を伺う。</p> <p>③瀬戸市美術館の近年の入館者数について、とりわけ中学生以下の入館実績はどのようになっているのか、また、利用状況について市の認識を伺う。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 1 番 | 黒柳 知世 議員 | |
|--------------|------------|---|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| | | <p>④瀬戸市美術館において、子どもを明確なメインターゲットとした企画展は、過去に一度も実施されていないと聞いている。美術館という貴重な施設がありながら、これまで次世代を担う子どもたちに特化した企画展が開催されてこなかった理由について伺う。</p> <p>⑤美術館運営において、これまでの固定観念にとらわれず、「ライトな層」や「子育て世代」へのアプローチを強める必要があると考える。子どもたちが親しみやすいテーマを設けることは、本市で育つ子どもたちの感性や情操を育てる観点からも重要であり、また、美術館を目的地として本市を訪れる方を増やす視点としても有効と考えるが、市の見解を伺う。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。